

Title	訂正
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾経済学会
Publication year	1975
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.68, No.7/8 (1975. 8) ,p.646(61)-
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19750801-0061

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

学位授与報告

実証分析がなされている。

これらの人口学的変動は、それが地域の経済開発において、人口老年化にもとづく社会保障問題において、労働人口の老年化にもなう生産性への影響において、したがって、賃金体系の今後のあり方において、その他、近い将来の国民経済のどの分野にも強いインパクトをあたえる事項である。

もちろん、これでこの研究が完成したわけではない。人口の分野は本質的に関連諸科学との接触の場をもつから、理論の枠組みにおいても、取扱われる方法論の範囲においても、今後研究すべき課題はなお残されている。特に著者も指摘している戦前の人口転換と

戦後の経験との異質性については、さらに掘り下げた比較研究が必要である。しかし著者が戦後、逸早く人口構造変化の将来について考察を加え、かつ国連人口委員会での活躍を通じての広い学識を基礎に、正確な資料にもとづく日本人口の実証分析を国際比較をふくめて体系的にまとめあげたこの成果が、日本経済の将来を論ずるうえで、経済学に貢献するところ大であることを評価し、著者が経済学博士の学位を授与されるにふさわしいものと認めるものである。

論文審査担当者 主査 安川 正彬
副査 寺尾 琢磨
副査 中鉢 正美

訂 正

本誌67巻7号に掲載された拙稿「Continuous Selectionと不動点定理」中、注(3)および注(4)に、Hildenbrand [2] Appendix とあるのは Part I の誤りである。おわびして訂正する。 丸山 徹